

平成29年度日知屋小学校 学校評価書（体育）

平成29年度学校経営基本方針

授業を中心とした日々の優れた指導を行うことにより、意欲をもって学び、確かな学力を身に付け、臆することなく輝く児童の育成を実現する。

4段階評価

4・・・大変よい

3・・・概ねよい

2・・・もう少し改善を要する

1・・・大いに改善を要する

	重点目標	達成基準	具体的実践方策 (主な指導者：◎学校 ○家庭 ☆地域)	評価方法	自己評価		関係者評価	考察	感想・意見
					項目別	総合			
体育	毎日、休まず登校し、元気に体を鍛える児童を育成する。	・新体力テストのTポイント50以上の学級児童の割合が5割超	◎ 体育の授業における十分な運動量確保と鍛える体育による、学年に応じた技能習得の徹底 ◎ 体づくり運動（持久走、縄跳びの実施） ○ 外遊び	・新体力テスト結果 ・果各児童の学習カードの記録	2	2.5	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・新体力テストでA判定の児童は27名と全校児童の1割を越えた。特に高学年で多かった。総合評価ABの合計が38%（前年度より4%増加）市の陸上大会でも6年生が100m走、1000m、走り幅跳び、走り高跳び、ソフトボール投げ、400mリレーで入賞した。また、どの学年も体育の時間の運動量を確保するとともに、ボール運動や跳び箱運動、マット運動等では、グループ学習による進め方を工夫して運動の技能を高めた。水泳指導でも一人一人の記録をとりながら、泳力に応じた指導を行い向上を図った。また、担任どうしが他学年の方法等の情報交換を行い、よりよい進め方になるように努めた。持久走練習や縄跳びについてはがんばりカードをもとに、自分から進んで鍛える児童の姿が見られた。 ・早寝早起きができていない児童がほとんどであるが、メディアによる夜更かしや、生活の乱れが見られる児童もいた。ノーメディアデーは、効果的だという保護者の声が多く、今後も家庭の協力を得て取り組みを徹底する。 ・全校児童欠席ゼロの日はこれまでに5日である。家庭の協力や学校での手洗い等の徹底により、インフルエンザ等の流行はほとんどなかった。今後も取組を継続していく。 ・昼休み時間に外に出て思い切り体を動かして遊んだり、学年の枠を越えて仲良くする姿が大変多くなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ワールドアスリート宮崎」の、本校からの受験者はいなかったが、今後、運動能力を生かした挑戦や体験の周知を図るとともに、積極的に参加するように、児童への啓発を図ってほしい。ぜひ、本校からオリンピック選手の輩出を期待したい。 ・体力向上のためにも持久走の大会の開催を考慮してみてもどうか。体力があり入賞した児童を認めることをしてほしい。 ・欠席ゼロの日をもっと増やせるといい。本年度は目標が高かったため評価が低くなってしまったのではないだろうか。目標を見直してみたらどうだろうか。
		・全児童の意欲あふれる学校生活の実現	○ 基本的な生活リズムを整える家庭の取組	・児童、保護者へのアンケート	3				
		・全校児童欠席ゼロの日が年間20日超	○ 基本的な生活リズムを整える家庭の取組	・出欠記録 ・児童、保護者へのアンケート	2				
		・昼休み時間に元気に遊ぶ児童の姿	◎ 昼休み時間の外遊びの奨励	・昼休みの外遊びの観察、記録 ・児童へのアンケート	3				